

トコジラミってどんな虫？

- 成虫・幼虫ともに小判のような楕円形。一見、チャバネゴキブリやクロゴキブリの幼虫に似ている。（ゴキブリ並みに素早く動く。）
- 普段は狭い隙間などに潜んでいるので見つかりにくい。
- 成虫も幼虫も吸血する。餌は血液のみ。吸血間隔は夏で4～10日だが、飢餓に強く、無吸血でも数か月生きられる。



- 主に夜間、人が寝ている間に出てきて、露出している足・手・首などを刺して吸血する。
- 吸血されると強いかゆみ※や紅斑（こうはん）などの症状が出る。あまりのかゆさに熟睡できず、日常生活に支障が出ることも。

※一般的に、初めて刺される人は無反応で、繰り返し刺されるうちにかゆみが強くなります。

☞ 繰り返し吸血された症状の例

トコジラミはシラミの仲間でもダニの仲間でもありません

カメムシ目に属する吸血昆虫です。

知識の普及が進んでいないため、トコジラミの侵入に気付かずに住宅や店舗・施設で被害を大きくしてしまう例が見られます。また、当初のかゆみをダニの被害と勘違いしてダニ対策を行ってしまう方が多く見られます。

しかし、ダニ対策ではトコジラミを根絶することはできません。



ダニとトコジラミは刺す皮膚の部位が異なります。

見分けるポイント

イエダニ (0.6~1.0mm)	ツメダニ (0.3~1.0mm)	トコジラミ (5~8mm)	アタマジラミ (2~3mm)	ネコノミ (1.5~3mm)
●主に肌が露出していないところを刺して吸血。	●繁殖場所と接している肌を刺す。	●肌が露出しているところを刺して吸血。	●頭髪部位の皮膚を中心に刺して吸血。	●主に露出している脚（ひざ下）を刺して吸血。
皮膚の柔らかい部分が刺されやすい。 ※ネズミがいると発生する。	夏に被害が多く、背中や横腹等を刺されることが多い。	手・腕・脚・首など。 被害は一年中あがるが、夏が最も多くなります。	※主に保育園～低学年の子どもに寄生することが多い。	横になっていると脚に限らない。 夏に相談が多い。 ※猫のお産場所に多量発生する。

※虫以外の原因でかゆみが起こることもあります。なかなか治らないかゆみは、皮膚科を受診しましょう